

【「間接部門（総務部門）で付加価値を生み出そう！」を応援するICT活用支援】

◆日本とアメリカの労働生産性格差は1.6倍もあるんです！

安倍首相は、日経ビジネス誌のインタビュー（H29.5.19）に対し、『長時間労働抑制などの働き方改革をさらに前に進め、生産性向上のための改革と人づくりのための改革に一体的に着手していきたい』と強く表明しています。

また、日本生産性本部より発表された統計データ（H28）によると、日本の労働生産性はOECD加盟35か国中20位で、主要先進7か国内では22年連続最下位となっています。時間当たり労働生産性では日本が42.1ドルに対し、アメリカは68.3ドルと1.6倍もの開きがあります。このことから、現在、GDP世界3位であり続ける日本では、まさに「残業に拠る長時間労働」が労働生産性の日米格差をカバーしていることが解ります。

そして、冒頭の安倍首相の「働き方改革...」により長時間労働の改善が急がれる中、国はICTを活用した生産性の向上（⇒長時間労働の是正）というストーリーを描いています。

なお、労働生産性は、労働者一人当たりで生み出す成果、あるいは、労働者が1時間で生み出す成果を指標化したものと定義されています。

★ 労働生産性 = アウトプット（付加価値額） / インプット（従業員数）

◆ウチの会社で労働生産性が良くなるって、どういうこと？



では、実際に労働生産性が良くなるって、どういうことなのでしょう？

<ケース1: 営業部門の場合>

営業担当者が社内で行う請求書作成・発送、お礼メールなどのデスクワークの所要時間（90分）がICT化によって半分（45分）に削減され、余力となった45分を新規開拓・顧客フォローなど、発展的業務（付加価値の創造）に充てる事が出来る。

→（★ 分子）アウトプットの増加

<ケース2: 総務部門の場合>

総務担当が行う勤怠管理・給与計算処理は従来、2人がかりで朝9時から17時まで掛かっていたが、ICT化によって1人でも12時には終わることが出来るようになった。

→（★ 分母）インプットの削減

さらに、時短となった13時～17時の時間、および余力の1人が、採用活動・銀行対応を行うことが出来るようになった。総務部門としては同じ労働力、労働時間でプラスαの業務を担当し、生産性向上に繋がった。

→（★ 分子）アウトプットの増加

◆日々の作業に埋もれたムダを無くし、埋蔵金（生産性向上）を見付けましょう！

『ウチの会社では全社員にPCを貸与しているから、IT装備率は高い』という事業所であっても、そのPCを使いこなせていますか？宝の持ち腐れになっていませんか？また、日常業務の中に類似した（重複した）作業が混在していませんか？ちょっとした知識と工夫で大きな業務カイゼンに繋がるかもしれません。皆さんの見慣れた景色（オフィス）に隠れた生産性向上の“種”を見付けませんか？

当組合では、この生産性向上の手段として「Excelマクロ機能」を活用した身の回りの業務カイゼンのご提案を進めております。別紙「Excelマクロツール開発のご案内」をご覧ください、気になる箇所がございましたら、組合事務局までお問い合わせ下さい。



【最大130万円！助成金を活用した「人事評価制度」策定セミナー】

◆求人を出しても応募がない、人材が採用できない！

有効求人倍率が1.4倍、この数値はバブル経済時期（1991年）以来の高水準です。近隣の東京都では有効求人倍率が2倍を超え、“超”売り手市場となっています。現在、転職市場では「転職すれば、給与が30%上がる」と言われている状況です。

◆残業をさせることが企業のリスクに！

大手広告代理店で女性従業員の自殺案件を始めとして、長時間労働が自殺や精神疾患（うつ）との関係性を認める判決が出ています。“残業”に対する認識を経営者・管理職が変えないまま、従業員に残業をさせ続けることが大きな経営リスクになっています。

上記のような経営リスクに立ち向かう打開策として「人事評価制度」の策定に焦点を合わせたセミナーを7月19日（水）に開催します。会社の方向性を示すと共に、管理職を含めた従業員が、“何を” “どれだけ” やればいいのかを判り、その成果に見合った納得感のある評価が出来る「人事評価制度」の作成を目的としたセミナーです。

なお、当日は最大130万の助成金情報も併せて解説いたします。お申込は、別紙ご案内を参照下さい。

中小企業のIT支援事業

Excelマクロツール開発のご案内

～ オフィス作業を自動化すれば
作業時間短縮、生産性アップ! ～

総務、経理等の
オフィス作業が
変わります!

■リタネッツ事業協同組合のIT支援

中小企業は、限られた経営資源の中で事業活動を行っており、生産性アップにはIT活用は必要不可欠です。しかし、ITが活用できていないところが多くあります。そこで当組合では、システム担当者がいない組合員様を対象に、Excelマクロツールを開発するIT支援を行っています。

日々の業務、こんなことはありませんか?

- ☑ 請求書や納品書は販売管理表を見ながら1つ1つ手入力して作成している。
- ☑ 一枚の注文書から同じ内容を見積書や作業指示書、納品書など複数の帳票に手入力、またはコピー&ペーストして転記している。
- ☑ 顧客データから必要な情報をコピー&ペーストして別シートに転記している。
- ☑ 新しい月のファイルを作成する時には、前月のファイルをコピーし、日付を変更して、数字をクリアして使っている。
- ☑ 入力を間違えたり、前月分のデータを消し忘れてミスしてしまったことがある。



オフィス作業を自動化すれば全て解決できます。
EXCELマクロ機能を使って作業を自動化すると
あとは「ボタンをクリックする」たったこれだけ!

※マクロ機能...表計算ソフト「EXCEL」に標準装備されている機能で
複数の手順を、自動的に実行させる仕組みです。

例えばこんなことも、ボタンをクリックするだけで!

- ⇒ 今お使いのEXCELの表から、複数の帳票に自動転記&一括印刷
- ⇒ 新規のEXCELファイルを作成し、既定のフォーマットや別ファイル(複数可)の数字等を自動転記
- ⇒ 今お使いの会計ソフトや給与計算ソフトに取り込めるインポートファイルを作成

まずはお気軽に相談を!

データを整理したいけど、どうしたらいいかわからない...
こんな帳票を簡単に作れたら楽なんだけど...等
まずは気になることがあれば、なんでもお電話にてお問合せ下さい。
後日、貴社にて具体的なツール開発について面談をさせていただきます。
相談、お見積もりはもちろん無料!安心してご相談下さい。

開発料金

費用:3万円～(税抜き)

※ご相談内容をお伺いして
費用をお見積りします。

申込・問い合わせ

リタネッツ事業協同組合 坂(ばん)・加納
TEL:048-658-8881 FAX:048-658-8883
埼玉県さいたま市大宮区吉敷町1丁目135
アライ吉敷1丁目ビル8階

リタネッツ事業協同組合主催 ビンポイントセミナー

働かない改革から
働きたくなる改革へ

今がチャンス
成果型賃金制度導入に
助成金 最大
130万円

ひな形やデータベースなど参考にしないで
社長と幹部で作ろう自社にピッタリの **人事評価制度**

- 政府が取り組む「働き方改革」による労働法改正の大きな波に、企業はどう対応するべきか!
- ★「長時間労働抑制」への取り締まり強化、それを受け身で対応すれば企業収益力は低下する。
- 政府もそれを分かっている、用意した施策が「人事評価改善等助成金」(制度導入で50万、生産性向上で80万!!)

人事評価・人材開発関係助成金の解説あり!

■本格的な人財確保が困難な時代が到来、人事評価制度、給与制度がないだけでブラックの印象を与えてしまい、会社の雰囲気や人間関係の良さを分かってもらう前に若者に敬遠される。

中小企業の人事評価制度に組み込むべき3大戦略

作るべきは会社を強くする人事制度

- 戦略1 **元気に自ら動く組織風土づくり戦略**
●人格を磨き、人間性を高める ●緑の下の力持ちにもスポットを当てる
- 戦略2 **やる気を引き出すモチベーションアップ戦略**
●会社の目標(ビジョン)と個人のキャリア目標を一致させる
●会社に貢献しながら自分の価値を高める仕組み作り、努力は会社のためにあらず
- 戦略3 **競争力強化・向上戦略**
●個人の経験知、実践知の組織全体への水平展開で生産性倍増
●3年後、5年後に必要な知識・技術・能力を他社に先駆け早期習得

人事評価制度を定着・進化させるエクセル活用・IT化戦略

評価も給与も自主管理

- 戦略1 **健康診断書のような個人評価カルテでフィードバック**
●評価点数の推移や自分以外の人の成長率比較などデータにより内省を促す
- 戦略2 **評価項目ごとの業績貢献度分析 及び評価項目ごとの全社推移表で会社の成長の見える化**

開催日時	7月19日(水) 13:00 受付開始 13:30 開始 16:30 終了	会場	埼玉県さいたま市大宮区吉敷町1-135 アライ吉敷1丁目ビル9F セミナールーム (無電り駅:大宮駅・さいたま新都心駅)
受講料	1名 6,000円(税込)	講師	社会保険労務士法人CWM総研 代表社員 羽鳥 博樹 人事コンサルタント 吉川 ゆみ

申込・問い合わせ FAX送信先: 048-658-8883 リタネッツ事業協同組合
TELO48-658-8881

企業名	役職	氏名
所在地	TEL	FAX

紙のタイムレコーダーを利用されている組合員さんへ

◆指静脈認証勤怠管理システムのご案内

当組合は、組合員様へ指静脈認証勤怠管理システムの導入を進めています。指静脈認証勤怠管理システムは、「指静脈認証装置」と「超楽々勤怠集計ツール」で構成されています。

最近、銀行のATMでも指静脈認証装置を見ることがあると思います。指の静脈を読み取って本人を認識する仕組みで、それをタイムカードへ応用したものです。簡単に説明すると、紙のタイムカードをガチャんと打刻する代わりに、指静脈認証装置に指をかざします。これにより、本人を特定して出勤時間、退社時間を打刻することができます。打刻データを「超楽々勤怠集計ツール」で処理して、給与計算ソフトに合わせたインポートファイルを作成します。この仕組みを導入することで次のようなメリットがあります。

1. タイムカード用紙の準備が不要

毎月、紙のタイムカードを準備するって意外と大変ですよ。タイムカードを用意して、氏名を印刷して、棚に準備する。この作業が不要になります。

2. 時間集計が不要

打刻時間は電子データとして記録されるので、その後の勤怠計算を自動で処理することができます。勤怠計算の作業時間が大幅に削減できます。

3. 給与管理システムへの入力が必要

ご利用の給与管理システムへインポートできるCSVファイルを作成するので、給与管理システムへの入力作業が不要になります。

4. 不正打刻の防止

指静脈認証に切り替えることで、本人しか打刻することができないので、他人がなりすまして出勤時間、退社時間を打刻することはできません。

5. あらゆる勤務形態に対応

市販されているパッケージの勤怠管理ソフトでは、自社独自の勤務形態の仕組みに合わないケースがあります。しかし、「超楽々勤怠管理ツール」はオーダーメイドなので、組合員様の独自ルールに対応することができます。

指静脈認証勤怠管理システムにご興味を持たれた組合員様は、別紙「超楽々勤怠集計ツール製品説明会」へご参加ください。実際にご自身で体験いただき、指静脈認証装置の導入効果を体験してください。

リタネット事業協同組合

中小企業のIT支援事業

総務、人事労務の
オフィス作業が
変わります！

総務・人事労務担当者のための

“超楽々勤怠集計ツール” 製品説明会

毎月の給与計算に時間を費やしていませんか？そんな社内のちょっとした業務にITを取り入れると、業務が効率化します。でも、ITって難しそう…導入が大変そう…お金もかかるし…と、なかなか導入に踏み切れない企業も多くあります。

そこで今回の製品説明会では、当組合が開発した、エクセルのマクロ機能だけを使った“超楽々勤怠集計ツール”をご紹介します。

従来の紙のタイムカードから、データを取り出せる打刻端末に切り替えることで、集計結果を給与計算ソフトに取り込むまでの流れがボタン一つで可能になり、ミス軽減と大幅な時間短縮が実現できます。

当日は、日立製作所製の指静脈認証システムを使用し、当組合が開発した“超楽々勤怠集計ツール”のデモを行います。実際にどれだけ勤怠集計の効率化が図れるのかを体験して下さい！

また説明会後に、1社20程度の個別相談会の時間を設けております。その場でお話をお伺いし、簡単なお見積りを作成することもできます。ご希望の方は、下記申込み欄にチェックをお願い致します。（※希望者多数の場合は、別途日程調整をさせていただきます）

給与計算で、毎月大変な思いをされている現場担当者の方は是非ご参加下さい。

＜実際にツールを導入された組合員の方からの喜びの声＞

「半日がかりだった勤怠集計が1時間で終わり、給与計算日の負担が大幅に減りました！」
「今まで上司にお願いしていたダブルチェックがなくなり、気持ちも楽になりました！」

第1回開催

開催日時

7月13日（木） 13:40受付開始
14:00開始 15:00終了

会場

大宮ソニックシティ 7階 707会議室
埼玉県さいたま市大宮区桜木町1丁目7-5
（最寄り駅：大宮駅）

第2回開催

開催日時

7月27日（木） 13:40受付開始
14:00開始 15:00終了

会場

当組合セミナールーム
埼玉県さいたま市大宮区吉敷町1-135
アライ吉敷1丁目ビル9F
（最寄り駅：大宮駅・さいたま新都心駅）

※第1回開催と第2回開催は同じ内容となります。会場が違いますのでご注意ください。

申込・問い合わせ

FAX送信先
048-658-8883

リタネット事業協同組合 事務局
TEL:048-658-8881

会社名	役職	氏名
住所	TEL	FAX
参加日	<input type="checkbox"/> 7月13日(木) <input type="checkbox"/> 7月27日(木)	個別相談会へのご参加 <input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない